

堺リベラル高等学校 学校関係者評価報告書

1. 実施状況

日時 令和2年10月22日(木) 午後3時00分から

場所 愛泉学園 会議室

2. 委員会構成

香ヶ丘リベルテ高等学校校長	1名
挹泉会(同窓会)会長	1名
愛泉学園評議員	3名
愛泉学園監事	2名
堺女子短期大学特任教授	1名
香ヶ丘リベルテ高等学校元校長	1名
本校関係者	1名

3. 評価・提言

(1) 特色授業や行事を通して専門性を高める

特色授業の取り組みでは、「ダンス」「楽器」「演技声優」「イラスト」の身体表現科目や、「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法を学習することにより、自己表現力・コミュニケーション力が高まり、生徒が自信を持って授業に取り組み、教員主導型から生徒が主体的に学ぶ授業環境が整いつつあるとの事なので、今後も継続していただきたい。

発表する行事の設定では、表現教育で培った力を発表する行事を設け、発表の場所や鑑賞してもらう人などの設定を変え、様々な環境で自己表現力と専門性を高めている。修学旅行先のハワイでは「海外ライブ」を、3年間の集大成としての卒業制作発表(リベルテライブ)を行う取り組みでは、達成度が昨年に引き続き100%であるので、今後も継続していただきたい。

(2) 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

勉強塾で国公立大学・難関私立大学の進学実績を上げるために放課後に外部の予備校講師による受験対策講座を実施する取り組みが学力向上につながり、希望する進路に多数の生徒が進学しているので、今後も継続していただきたい。

ICT教育の推進では、生徒一人に一台のタブレットを持たせ、生徒を主体としたアクティブラーニングに取り組み、目標数値には届いていないが、昨年よりもICT教育に取り組む教員の意識も高くなってきているとのことなので、来年に期待したい。

(3) 身だしなみ・マナー指導による女子教育

マナー教育への取り組みで「挨拶・頭髪服装」を大切に、身だしなみが整いマナーの良い生徒を育成することに関して、生徒のマナー意識が年々向上してきているので継続していただきたい。

身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底され制服の正しい着用により、年々学校のイメージが良くなっている。